

「夢」をもち、「夢」に向かって努力する生徒

原北中学校 学校通信



令和 3年 6月18日 第5号

福岡市早良区小田部7-11-1

電話 092-851-3344

発行者 校長 福崎 浩 信



まん延防止等重点措置への移行（6月21日から）に伴う部活動について

感染症対策を徹底した上で実施する。

- ・平日の部活動は2時間以内（朝練習可）
- ・土日、祝日は3時間以内

学校独自で行う対外的な活動（合同練習や練習試合）については、公式大会等の3週間前から市内で実施するものに限り可能とする。

静中静非真静。・・・（静中の静は真の静にあらず・・・）

タイトルの意味は、「静かなところでしか保てない心の静けさは本当の静けさではない。」です。中国明代（1368年から1644年まで存在していた国家）の末期に書かれた「菜根譚（さいこんたん）」の一節です。

『動処静得来，纔是性天之真境。 楽処楽非真楽。 苦中楽得来，纔見心体之真機。

動処に静を得来たりて，纔（わずか）に是れ性天の真境なり。

楽処の楽は真の楽に非ず。苦中に楽を得来たりて，纔（わずか）に心体の真機を見る。』

と続きます。意味は、『活動の中で静寂を保ってこそ，本当の真の境地である。

また，安楽な環境の中でしか感じられないような喜びは，本当の喜びではない。

苦境の中でも喜びの心を得ることができるようになってこそ，心の真の働きを見ることが出来る。目まぐるしい活動の中でも保てることが，本当の心の在り方。苦境の中でも楽しみ喜びを見つけれることが，本当の心の働きである，と。』です。

私事，1月上旬に叔母さん，3月中旬に母親が，それぞれ別の病院で大きな手術をして，そのまま入院しています。週末はほぼ，それぞれの病院で洗濯物を受け取り，日用品などを届け，叔母さんの家で洗濯をしたり，掃除や庭の手入れをしたりしています。そして日曜日，それぞれの病院へ洗濯物を届けて我が家に戻ります。2～3週間に1度は，実家にも移動して掃除や畑の手入れをします。洗濯の合間や夜は，一週間の残務整理，次の一週間の準備，更にはその先のアイデアをまとめる貴重な時間でもあります。

我が家と叔母さんの家の間には，心が休まる場所が多くあります。

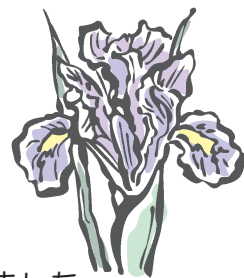
6月6日，福津市の宮地嶽神社に立ち寄りました。境内には，例年より早く見頃を迎えた紫と白の花菖蒲（ハナショウブ）約7万株が咲き誇っていました。幼少の頃，両親や叔母さんと一緒に訪れた時のことを彷彿させながら，ひとときの季節感を感じとりました。

元気になって，また一緒に来られますようにとお願いをして神社を後にしました。

1月上旬からの週末の病院通いもあっという間に20回を超えました。

片道40kmの面会が出来ないただ荷物の受け渡しをするだけの病院通いですが，これからも出来ることは継続していこうと考えています。合わせて，思考の整理をする貴重な時間であり，途中で買い物をしたり，季節を感じる場所で過ごしたりするのを楽しむ時間でもあります。有意義な時間にしたいと考えています。

「静かなところでしか保てない心の静けさは本当の静けさではない。」とつくづく感じるこの半年です。



道は開ける(成せばなる)「気付きと配慮の天才・・安藤百福(あんどうももふく)」

安藤百福【明治43年(1910年)3月5日ー平成19年(2007年)1月5日】は、日本の実業家で日清食品株式会社の創業者です。インスタントラーメン「チキンラーメン」、カップ麺『カップヌードル』の開発者として知られています。

今回は、カップヌードル開発のきっかけとなった話を紹介します。

『昭和41年(1966年)、視察のために訪れたアメリカ合衆国のあるスーパーマーケットへチキンラーメンを持ちこんだところ、麺を入れるどんぶりがなく、相手は紙コップの中にチキンラーメンを割ったものを入れ、湯をかけてフォークで食べた。それを見て欧米人には箸とどんぶりでインスタントラーメンを食べる習慣がないことを改めて認識しカップに入れてフォークで食べられるインスタントラーメン、『カップヌードル』の開発に着手した。

カップの素材として、断熱性が高く、経済性に優れたポリスチレンに着目した。食品容器にふさわしい品質に精製し、当時厚さ2cmほどに加工されるのが一般的であったところを2.1mmまで薄くした。

開発において最も苦労したのは、カップの中に入れる厚さが約6cmの麺の固まりをいかに均一に揚げるかということだった。固まりのまま揚げると中まで油熱が通らないため、バラバラにした麺を揚げると油熱の通った順に浮き上がってくることを利用し、バラバラにした麺を枠型の中に入れて揚げ、先に浮き上がった麺が後から揚がった麺に押し上げられてカップと同じ形状に固まる仕組みを編み出し、均一に揚がった厚さ6cmの麺の固まりを作り出すことに成功した。

麺の固まりが壊れるのを防ぐため、固まりの直径はカップの底部より大きくし、容器の中で宙ぶりの状態にして固定された。容器の中に麺を入れるのではなく麺の固まりの上から容器をかぶせる方法を考案した。

カップヌードルの需要が爆発的に高まるきっかけとなったのは、昭和47年(1972年)に起こったあさま山荘事件であった。この事件の際、山荘を包囲する機動隊員がカップヌードルを食べる姿が繰り返しテレビで放映されたことにより大きな話題を集め、生産が追いつかなくなるほどの売れ行きを見せるようになった。カップヌードルは日清食品にとってチキンラーメン以来のヒット商品となり、1972年に同社は東京証券取引所、大阪証券取引所、および名古屋証券取引所の第一部に上場した。

※安藤百福 経営のヒント・気づきになる経営者名言

- 細心大胆であれ。素人だから常識を超えた発想ができる。知識より知恵を出せ。
- 即席麺の発想にたどりつくには、48年間の人生が必要だった。過去の出来事一つ一つが、現在の仕事に、見えない点で繋がっている。
- 私は眠るときも、メモと鉛筆を枕元に用意する。四六時中、考える習慣をつけなさい。
- 私が無一文になったとき、「失ったのは財産だけではないか、その分だけ経験が血や肉となって身についた」と考えた。すると、新たな勇気が湧いてきた。
- 事業のヒントは周りを見渡せばどこでも転がっている。
- ベンチャー精神とは、無から有を想像することである。